

写真展「広島・長崎－恩赦と平和の文化を通じた、荒廃から再生へ」開会式

ロドリゴ・マイア下院議長
ケイコ・オオタ伯日議連会長
議会関係者並びにご列席の皆様

本日の写真展開催にあたり、伯日議連会長であるケイコ・オオタ下院議員のイニチアチブに敬意を表します。また、皆様の本日の御臨席に御礼を申し上げます。

我が国は、唯一の戦争被爆国として、核兵器廃絶を訴えてきました。広島・長崎の惨禍を、国境と世代を越えて広げていくことは、被爆国である我が国の使命・責務です。国連での核廃絶決議は日本の努力の一環です。

近年の国際社会は、北朝鮮による核実験及び累次の弾道ミサイル発射という重大かつ差し迫った脅威に直面しています。我が国としては、米朝首脳会談の開催を通じて、北朝鮮が完全なる非核化にコミットし、実施することを強く期待しています。

さて、本年は、日本人ブラジル移住110周年で、伯各地で様々な記念事業が行われます。ブラジリアの連邦下院では、本日の写真展に加えて、6月21日には移住110周年特別式典、7月5日及び6日には、下院レストランSENACにおいて、国際和食ウィークが開催される予定です。その中でも、本日の写真展は、我が国が重視する核兵器廃絶に資するものとして、ケイコ・オオタ伯日議連会長に深く感謝します。そして、同議員事務所のスタッフの皆様の御尽力に対し、御礼を申し上げます。

この重要な写真展を一人でも多くの方がご覧になり、「核兵器のない世界」の実現に向けて、日伯がともに取り組んでいければと期待します。

ご静聴ありがとうございました。